

2017年アジア選手権代表選手 略歴

【男子グレコローマン】

階級	顔写真	選手名・略歴
59kg		文田 健一郎(ふみた・けんいちろう=日体大) 1995年12月18日生まれ、21歳。山梨県出身。山梨・韭崎工高卒。168cm。 2010年全国中学生選手権優勝を経て、2011～13年に全国高校生グレコローマン選手権と国体グレコローマンで3連覇。2014年に世界ジュニア選手権60kg級に出場。 2015年に全日本学生選手権と国体を制して台頭。2016年は全日本選抜選手権と全日本大学グレコローマン選手権、全日本選手権で優勝。ゴールデンGP決勝大会でも優勝など国際舞台でも頭角を現した。
66kg		高橋 昭五(たかはし・しょうご=警視庁警察学校) 1994年10月16日生まれ、22歳。兵庫県出身。兵庫・育英高～日体大卒。165cm。 高校時代は全国大会無冠。2014年JOC杯ジュニア66kg級で勝ち、世界ジュニア選手権に出場。全日本選手権は3位。 2015年は全日本学生選手権71kg級で優勝し、全日本選手権は2位。2016年は全日本選抜選手権と全日本学生選手権71kg級で優勝。国体でのつまずきがあったが、全日本選手権で初優勝。
71kg		泉 武志(いずみ・たけし=一宮グループ) 1989年4月6日生まれ、27歳。愛媛県出身。愛媛・愛媛・八幡浜工高～日体大卒。175cm。 2011年全日本学生選手権60kg級優勝。卒業でいったんマットを離れたが、思いを断ち切れず2013年に復帰。2014年に全日本社会人選手権71kg級、国体66kg級、全日本選手権66kg級で優勝。 2015年に世界選手権出場を果たした。負傷のためリオデジャネイロ・オリンピックは逃したが、71kg級で復帰。全日本選手権を制し、今年3月の欧州遠征では2大会連続メダル獲得。
75kg		林 雷(はやし・らい=日体大) 1998年1月29日生まれ、19歳。山梨県出身。山梨・韭崎工高卒。171cm。 2014・15年JOC杯カデット優勝などを経て、2015年に世界カデット選手権出場(13位)、同年の国体少年74kg級で優勝。 日体大へ進み、2016年アジア・ジュニア選手権2位、東日本学生春季新人選手権優勝、全日本学生選手権3位と実績を重ねる。全日本選手権で3位となり、冬の全日本チームの遠征に抜てきされた。
80kg		前田 祐也(まえた・ゆうや=鳥取・鳥取中央育英高職) 1994年2月19日生まれ、23歳。鳥取県出身。鳥取・倉吉総合産業高～拓大卒。173cm。 高校時代は全国大会無冠。2014年にJOC杯84kg級で勝ち、世界ジュニア選手権へ出場。全日本選手権80kg級2位と急成長。2015年に全日本の2大会を制するとともに、世界選手権へも出場した。 2016年は全日本選抜選手権と全日本社会人選手権で優勝。国体(75kg級)と全国社会人オープン選手権でつまずいたが、全日本選手権で2連覇を達成した。
85kg		松本 篤史(まつもと・あつし=警視庁警察学校) 1988年3月24日生まれ、29歳。群馬県出身。群馬・館林高～日体大卒。181cm。 2005年アジア・カデット選手権69kg級フリースタイル優勝で台頭。フリースタイルで全日本選手権3度優勝し、世界選手権やワールドカップにも出場したが、ロンドン、リオデジャネイロの両オリンピックは逃す。 2016年夏からグレコローマンに方向転換して再出発し、最初の大会である国体で優勝。全日本選手権でも勝ち、幸先いいスタートを切った。
98kg		奈良 勇太(なら・ゆうた=日体大) 1996年3月7日生まれ、21歳。東京都出身。埼玉・花咲徳栄高卒。185cm。 高校時代は全国大会無冠。日体大へ進み、2014年全日本学生選手権で1年生王者へ。2015年は全日本大学グレコローマン選手権で優勝。 2016年はJOC杯、全日本選抜選手権、全日本学生選手権、全日本大学グレコローマン選手権で優勝し、世界ジュニア選手権96kg級で5位入賞と実力をつけた。全日本選手権でも初優勝。
130kg		園田 新(そのだ・あらた=ALSOK) 1994年7月5日生まれ、22歳。滋賀県出身。滋賀・日野高～拓大卒。187cm。 2011・12年全国高校生グレコローマン選手権優勝などを経て、2013年全日本学生選手権で1年生王者へ。2014年に全日本選抜選手権を制して世界選手権へ出場。 2015年も国内大会で勝ち続けるが、リオデジャネイロ・オリンピックへは出場できず。2016年も全日本選抜選手権、全日本選手権などで負け知らず。

※75kg級は、当初は屋比久翔平(ALSOK)が代表。負傷のため、出場辞退